

(青森県) 五 所 川 原 市 広 報

市政ニュース

毎月5.15.25日発行

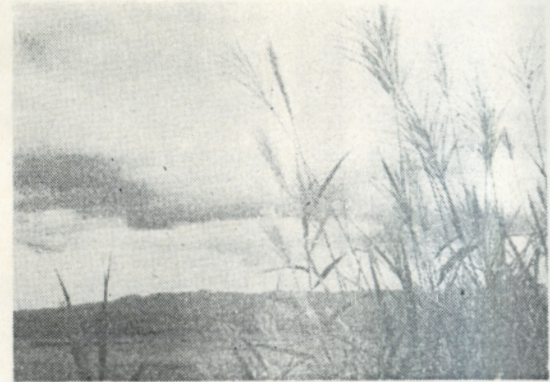
第122号

一部2円

発行所 五所川原市役所

印刷所

青森民友新聞社



綴って保存しましょう

「初秋の夕」

うら盆がすぎると
さわやかな大気につて
津軽の野づらに秋がやつてくる
稲田は黄ばみ穂をそるえ
みのり豊かに波を打つ
落日にすだく虫の音は
ときには高くときにはひくく
風のまにまに消えては浮ぶ
空には雲があやをなし
遠くの峰は
墨絵のように静まつている
あしたのくらしを語りあう
夕餉のひととき
今宵もまどかに賑わう

津軽縦貫産業道路

開発は可能

中山山脈の峻線をとおる津軽半島の突端に進む津軽半島縦貫産業開発道路を實現しようと、これまで、各方面に働きかけてきた期成同盟会は、八月一七日から二八日までの一二日間において、予定線の踏査をおこなった。

中山山脈の峻線をはじめれたが、悪天候と峻線にでる道がないため難行し、予定の半分である三〇キロメートルの踏査に終わったが、中山山脈は起伏が少ないため通路を通すことが可能であることをみえだした。

また、中山山脈からの眺望はすばらしく、半島そのものが一大観光地と考えられる。山裾には、いたるところに溪流がみられ、この美しい溪流沿えはハイキングコースとして楽しませてくれよう



中山山脈の開発は三面海にかこまれ広大な山と岩木川流域に広々とした平野をかかえている津軽半島関係市町村の期待をあつめているところであり、開発道路の實現により、そこに眠る森林資源が開発近代化され、その拠点である当市は近代都市として大きく飛躍される

後藤理事長 産業道路協会 現地を視察

開発道路の實現が可能かどうかという
ことで、産業開発道路協会理事長後藤文夫氏、同事務局長中島正氏は、青森市助役と共に佐々木市長の案内で九月一日現地を視察した



この峻線に道路を通されると、わが国でも珍らしい産業道路となる」と語った。ついで県企画課から踏査の報告があり午後六時終了した。

一行は、午後二時三〇分下山した。このあと、関係市町村長をあつめて市民文化会館でおこなわれた、津軽半島縦貫産業開発道路予定線踏査報告会に出席された。

写真説明

上：佐々木市長の説明で津軽平野を眺望する後藤理事長と中島事務局長
下：開発可能な中山の山なみ

席上、後藤理事長は「津軽半島縦貫産業道路の開発は、わたくしも前から非常に興味を持っていた。森林資源も豊富であり、観光面でもよいので経済効果は期待できよう。
中山山脈は標高二〇〇〇〜六〇〇メートルと高くないので可能と考えられる。」



巡回無料診療

各地で好評

保険課では、八月十六日北郡医師会（会長増田桓一氏）の協力を得て、毘沙門（長富を含む）、前田野目の二地区の無料総合診療を開設し、好評をよみました。この日の医療陣は、内科に増田桓一、江渡哲哉、森富夫、三上弘次、外科に対馬克夫、耳鼻科に草刈繁治、小児科に中村貞雄、眼科に三上久、婦人科に吉田秀也、薬剤師原太津美の各先生で地域住民から非常によろこばれていました。

当日の受診件数は四二五件、うち六〇歳台が一〇六件と一番多く、ついで五〇歳台の六四件となつております。

医師会では、この秋にも無料巡回診療をおこなう予定です。受診状況にはつきりとおりです。

重度精神薄弱児

扶養手当手続き

九月から重度精神薄弱児にして二〇才未満で精神の発達がおくれ、日常生活に常時の介護を必要とする方を監護する父母または、養育する方に扶養手当（月一人一〇〇〇円）を支給することになりましたから、該当者は十月三十日まで市福祉事務所にお問い合わせください。

無料診療受診状況

地区別	内	科外	科耳鼻科眼	科小児科婦人科	件数	計人員
毘沙門	88	19	19	33	7	11 177件 112人
長 富	33	10	9	11	1	0 64 41
前田野目	83	22	18	33	20	8 184 116

住民登録の実態

調査にご協力を

市では、九月十日現在で住民登録の実態調査をおこないません。住民の住所を明らかにすることを法律で定められており、住民の福祉のために、実際に居住しているところに登録する必要があります。住民登録がされてこそ、公に市民として認められることとなります。実態調査には、調査員が直接お宅に訪問しておこないますから、市民のご協力をお願いします。

日本脳炎予防接種

全国的に日本脳炎が発生をみており、多発の傾向にありますので予防接種希望者はつぎによりうけてください。

とき：毎週月曜、水曜の午後一時～三時

ところ：五所川原保健所

対象者：生後六カ月以降の乳幼児および成人

接種方法と回数：一〇〇のワクチンを七～一〇日の間において二回おこなう

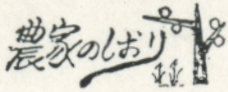
料金：一回につき一〇〇円です。

接種のうけ方：料金をもつて、直接、保健所においてになってください。

ビタミンB1

強化米のご利用を

配給米の質が向上するにつれて、ビタミンB1の補給が必要となつてきました。私たちは、一日当たりビタミンB1を最低一・二ミリグラムが必要で、おいしいごはんをたべながらビタミンB1がとれる強化米一キログラムのビタミンB1は一・五ミリグラムありますから、経済的に、手軽に豊富なビタミンB1をとることが出来ます。配給米一キログラムに、強化米五グラム混合が一番適当です。強化米を利用した混合米もあります。混合米は一キロ当り九五円五〇銭で一俵五・七三〇円です。強化米は配給所で販売しておりますから、ご相談の上ご利用ください。



(9月10日～30日)

〇稲作…落水と刈取りは適期に、乾燥法の改善をはかる…

①落水の適期は出穂後30～35日頃であるが、一般に落水が早目におこなわれているので早過ぎないようにする。とくに病虫害の発生しているところでは7～10日遅目におこなう。

②強風による稲体の脱水によつて茎葉が枯れ、登熟が停止することがあるから、強風時の深水や冠水時の早期排水ができるよう灌排水路を整備し台風にも備える。

③出穂後40～45日経て、籾が90%位黄変したら茎葉の色を気にせず刈取りをする。

④刈取つた稲はただちに棒がけ、架がけによる乾燥を実施するが、天候の如何によつては、人工乾燥を併用するよう乾燥に対する準備を進める。

⑤採種田は刈取り前に最後の異品種除去をおこない早目に刈取りをする。

〇りんご…着色手入れと落果防止に充分な対策をとる…

①無袋果は、りんごの実にかぶさっている葉を随時かく摘み取り着色の手入れとナメリの防止をはかる。

②収穫後の落果防止剤は風速20m位の台風でも相当効果が高いので、予め散布しておくことよ。紅玉、デリンヤスに9月上旬から10月上旬に散布するが、つぎのことに注意する。

2.4.5-T P	1.800倍	(水10ℓに原液5.55〇〇)
ヒオモン	9.000倍	(水10ℓに原液01.11ℓ)
ナフサク	8.640倍	(水10ℓに原液1.16ℓ)

※2.4.5-T Pには熱度促進効果があるから散布した場合は、採取期を少し早める。

展着剤を加用し、果実の梗もとによくかける。散布は除袋の前後いずれでもよい。

〇この回をもつて、ことしの「農家のしおり」を終ります。
(農業改良普及所)